

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	住宅用太陽光発電システム設置費補助金	開始 年度	平成23年度
----------------	--------------------	----------	--------

団体名	住宅に太陽光発電システムを設置しようとする市民
-----	-------------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付要綱および取扱要領
-------------------------	-----------------------------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら居住し、かつ所有する函館市内の住宅に太陽光発電システムを設置しようとする者、または発電システム付きの建売住宅を購入しようとする者に対し、その設置費用の一部を助成する。 ・本補助制度は、対象者全員に助成することとしており、予算額が不足する場合でも補正等により対応してきている。
目 的	(目 的) 環境に配慮したクリーンエネルギー活用に関する市民意識を醸成し、市民が誇れる美しいまちづくりを進めていくことを目的とする。
	(効 果) 函館市内における住宅用太陽光発電システムの普及とクリーンエネルギー活用に関する市民意識の醸成
・ 効 果	(効 果) 函館市内における住宅用太陽光発電システムの普及とクリーンエネルギー活用に関する市民意識の醸成

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

年度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	設置費用の 自己負担分	計
	市	その他					
収 入	21						0
	22						0
	23	14,929				146,310	161,239
	24	30,036				259,424	289,460
	25	31,500				未定	
支 出	年度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等		計
	21						
	22						
	23						
	24						
25							

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	住宅用太陽光発電システム設置費補助金
----------------	--------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	地球温暖化の防止, 安全でクリーンな再生可能エネルギーの普及・促進といった観点からは, 公益性も高く, また, 市民ニーズも高い事業である。 ただし, 一方では特定の個人資産に対する補助という側面もある。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	システム設置に要する初期投資が高額であり, 一般住宅への普及・促進を図るためには必要であると考えるが, 今後の設置価格の動向や国のエネルギー政策を注視する必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	本事業については, 太陽光発電システム設置を促進するものであり, 自主性はなじまない。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが, 施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	国においても, 住宅用太陽光発電システムの普及を図るため補助制度を実施しているが, 設置には高額な初期投資を要することから, 市が国との併給を可能とした補助制度を実施することは有効である。

※適・不適であっても, 説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は, 前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	他都市の補助金単価を参考としており, 今後の国のエネルギー政策や市民ニーズ, 他都市の動向等を注視しながら見直しを検討したい。
4	補助割合は, 補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は, 説明欄に必ず記載してください。

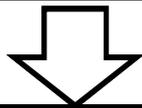
補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	住宅用太陽光発電システム設置費補助金
----------------	--------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)																
<ul style="list-style-type: none"> ・函館市内における住宅用太陽光発電システムの普及件数 ・ただし, 本補助制度は, クリーンエネルギーの活用に関する市民意識の醸成を目的としており, 設置件数等の具体的な目標設定は無い。 																
(達成状況)																
<ul style="list-style-type: none"> ・函館市内における設置件数 (北海道電力(株)函館支店からの聞き取り) <table border="0"> <tr> <td>H19年度末</td> <td>年間10件</td> <td>H22年度末</td> <td>年間95件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H20年度末</td> <td>年間31件</td> <td>H23年度末</td> <td>年間114件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H21年度末</td> <td>年間72件</td> <td>H24年度末</td> <td>年間208件</td> <td>(累計644件)</td> </tr> </table>		H19年度末	年間10件	H22年度末	年間95件		H20年度末	年間31件	H23年度末	年間114件		H21年度末	年間72件	H24年度末	年間208件	(累計644件)
H19年度末	年間10件	H22年度末	年間95件													
H20年度末	年間31件	H23年度末	年間114件													
H21年度末	年間72件	H24年度末	年間208件	(累計644件)												

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	平成23年度に本補助制度を創設したが, 2年目を迎えた平成24年度には, 市内における設置件数も急増しており, システム設置を検討する市民に対し, 本補助制度が後押しになったものと考えられ, 同時に, 市民意識の醸成も図られてきているものとする。

○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 国のエネルギー政策や他都市の動向, システム設置費用額の推移や本市の財政状況等を考慮し, 補助金単価や補助件数の見直しを検討する。 (見直しの時期) 平成25年度
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成25年度		平成28年度

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	HAKODATE黒船2013開催補助金	開始 年度	平成23年度
----------------	---------------------	----------	--------

団体名	函館黒船地域活性化協議会
-----	--------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	「音楽とファッションと食」のフェスティバル アーティストライブ・ファッションショーなどのステージイベントとグルメイベントを融合させた道南最大級のイベントに対し、経費の一部を補助するもの。
目 的	(目 的) 若者達が自ら企画立案した「音楽とファッションと食」のイベントを通じて、地域の活性化、ならびに若者達のまちづくりに対する意識の向上が図られることを目的とする。
・ 効 果	(効 果) ・ 市民はもとより多くの方々に参加する、函館を代表する一大イベントとして、地域の活性化に寄与する。 ・ 若者がスタッフやボランティアとして、参加することにより、若者のまちづくりに対する意識の向上につながる。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	自己資金	繰越金	企業協賛金	計
		市	その他					
収 入	21							0
	22							0
	23	2,000	1,500	6,792	1,091		14,570	25,953
	24	2,000	2,800	7,550	2,035		9,040	23,425
	25	2,000	2,500	5,500			6,000	16,000
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21							0
	22							0
	23			25,953				25,953
	24			23,425				23,425
	25			16,000				16,000

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	HAKODATE黒船2013開催補助金
----------------	---------------------

○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	本事業は、市内の経済界や市民の協力を得ながら、若者達が行うイベントとして、多くの市民の参加を得ているほか、ファッションモデル等として市民も出演するなど、市民参加型の事業にもなっており、地域の活性化に寄与している。また、スタッフやボランティアとして若者が参加することで、まちづくりに対する意識の向上にもつながっている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	将来を担う、このまちに暮らす若者たちの、地域を思う気持ちや豊かな発想をもとに実施するイベントの開催など自主的なまちづくり活動に対し積極的に支援をしていく必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自主自立に向け、地元企業からの協賛金の確保や来場者数の増加等へ不断の努力を続けている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	本事業は、地域の若者たちが中心となり実施しているものであり、委託や負担金での支出はなじまないと考えている。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input checked="" type="checkbox"/>	前年同額であるが、今後、事業の自主自立へ向けた取り組みの中で検討していく。
2	補助金等の用途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	前年同額であるが、今後、事業の自主自立へ向けた取り組みの中で検討していく。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

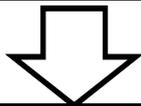
※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	HAKODATE黒船2013開催補助金
----------------	---------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
<ul style="list-style-type: none"> ・H24 HAKODATE黒船2012 目標来場者数 5,000人 ・H25 HAKODATE黒船2013 目標来場者数 10,000人
(達成状況)
<ul style="list-style-type: none"> ・H24 約3,500人の来場者, 約300人のスタッフ・ボランティアが参加するなど, 若者をはじめ市民の関心も高く, 多くの市民がイベントに参加することで, まちづくりに関心のある若者の育成に繋がっている。



※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・函館市内はもとより, 道南全体からスタッフや観客が参加していることや, フードフェスティバルの開催など, 経済波及効果も高く, 道南地域全体の振興発展につながっている。 ・また当該イベントを通じ, 自らが主体となって取り組む若者も増えているなど, 次代のまちづくりを担う人材育成にも貢献している。 ・当該イベントでプロと共演できる地元アーティストやモデルのオーディションを行っているが, このオーディション合格を機に, 実際にモデルとして活躍する若者も現れている。

○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 当該事業に対しては, 平成23年度から補助を行い, 今年で3年目を迎えるが, 今年度の事業実績を見て, 平成26年度に, 今後の補助のあり方について検討する。 (見直しの時期) 平成26年度
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成26年度		平成26年度

補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	サマースクールin函館開催補助金	開 始 年 度	平成22年度
----------------	------------------	------------	--------

団 体 名	サマースクールin函館実行委員会
-------	------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	夏休み中の一定期間、障がいを持つ児童・生徒が、日頃、学校では体験できない校外での余暇体験活動をする場や機会を提供する。
目 的	(目 的) 知的障がい児教育の充実・向上に資するため
・ 効 果	(効 果) 校外での体験活動機会をつくることにより、児童生徒および学生の社会性や人間関係の育成に効果がある。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	寄付金	計
		市	その他					
収 入	21							0
	22	300			583		100	983
	23	300			386		100	786
	24	200			419		100	719
	25	180			316		100	596
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費		計
	21							0
	22		185	758		40		983
	23		199	587				786
	24		101	618				719
	25		84	512				596

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	サマースクールin函館開催補助金
----------------	------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	市内に在住する知的障がいのある児童生徒を対象に、楽しい夏休みを過ごす場を提供することにより、児童生徒の社会性、人間関係の育成が期待できるほか、学生ボランティアにとっても貴重な経験となるものである。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	障がい者の社会参加の促進、活動内容の充実を図るうえで、市からの補助が必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	活動内容の見直しや経費節減など、より効率的・効果的な運営になるよう努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	団体の自主性を尊重するため、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、事業に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	サマースクールin函館開催補助金
----------------	------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)	
本補助事業の効果は知的障がい児教育の充実・向上であり, ボランティアを含む参加者数で効果を測定する。	
(達成状況)	
平成24年度参加者数 (実績)	
・小学生	33名
・中学生	19名
・高校生	11名
・ボランティア	146名
合計	209名

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) イベントの収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	はこだて国際民俗芸術祭開催補助金	開 始 年 度	平成22年度
----------------	------------------	------------	--------

団 体 名	一般社団法人ワールズ・ミート・ジャパン
-------	---------------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	世界の民俗音楽・舞踊団が一週間近くにわたり函館に滞在し、元町公園ステージを中心に公演や体験型ワークショップを開催するほか、学校や福祉施設において出前コンサートを行うなど、異文化体験の機会を広く提供し、海外芸術団と地域住民との交流を図っている。
目 的	(目 的) 市民が身近に文化芸術へ触れる機会を提供し、地域の文化芸術の振興が図られるほか、国際交流の推進や観光振興なども含む、文化によるまちづくりに貢献するため
・ 効果	(効 果) 民俗芸術を主とした本イベントは、全国的にもほとんど例のない先駆的な事業であり、子どもを含む多くの市民が本格的な海外の舞台芸術に触れることができ、函館らしい文化芸術活動として、本市の文化芸術振興に貢献するものである。また、国際的文化芸術交流の拠点として函館のイメージアップに繋がり、国際交流の促進や新たな観光資源という観点から、魅力あるまちづくりに寄与している。

○補助事業の収支状況

※平成21年度は「開港150周年記念事業」での実績 (単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	自己資金	協賛金	雑収入	計
		市	その他					
収	21		13,000	1,560	193	3,005	3,210	20,968
	22	3,000	3,200	2,909	2,895	2,830	4,385	19,219
	23	3,000	2,816	2,940	1,465	3,185	6,153	19,559
入	24	3,000	3,200	1,857	1,524	3,390	6,862	19,833
	25	3,000	3,000	2,050	1,235	3,000	7,800	20,085
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21			20,968				20,968
	22			19,219				19,219
	23			19,559				19,559
	24			19,833				19,833
	25			20,085				20,085

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	はこだて国際民俗芸術祭開催補助金
----------------	------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	民俗芸術を主とした大規模かつ国際的な芸術祭であり、全国的にも例がない先駆的事业である。子どもから大人まで広く本格的な海外の民俗芸術に触れることができ、文化芸術の発展や国際交流の促進など、市民生活の向上に寄与するものである。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	広く市民が本格的な国際的文化芸術の魅力に触れる機会を提供し、市の文化芸術をより一層向上させるイベントであり、補助する必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業実施にあたっては、宣伝・営業活動に力を入れ、公演料や協賛金の確保と経費削減を図るなど自助努力に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	事業の性質上、市が主体となって開催することはできないため、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、事業に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	はこだて国際民俗芸術祭開催補助金
----------------	------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

○測定方法: 各ステージでの入場者数および, 民俗芸術団体参加者数により効果を測定する。

○具体的な数値等: [平成24年度予定数]

- ・民俗芸術団体参加者 (海外) 200人 (国内) 60人
- ・スタッフ 170人
- ・来場者 3万5千人

(達成状況)

○達成状況: [平成24年度実績]

- ・民俗芸術団体参加者 (海外) 99人 (国内) 81人
- ・スタッフ 170人
- ・来場者 4万9千人

開催日: 平成24年6月5日～10日 (オープニングライブほか)
8月4日～10日 (元町ステージ, 同時開催「もぐもぐフェスティバル」ほか)

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

↓	(評価)	(理由)
	十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) イベントの収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	イカール国際ミュージックキャンプ開催補助金	開 始 年 度	平成24年度
----------------	-----------------------	------------	--------

団 体 名	函館国際室内楽アカデミー
-------	--------------

助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則
-------------------------	--------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	室内楽分野のトップレベルの音楽家を多数招聘し、全国の新進音楽家や児童生徒、学生および社会人を対象に、一流音楽家とのマンツーマンレッスンや共演を行う「ミュージックキャンプ」を中心に、特別講座や広く市民を対象とした一流講師陣によるコンサート等を開催する。
目 的	(目 的) 音楽教育によるまちづくりや音楽文化の発展を目的に実施され、市の政策である音楽合宿の誘致に資する事業であるため
・ 効果	(効 果) 広く全国や海外で活躍する音楽家の育成のほか、地域住民等を対象に音楽の楽しさや素晴らしさを知ってもらう普及事業の開催により、「音楽のまち函館」を内外に発信し、音楽産業の振興や地域文化の活性化に寄与している。また、市外参加者の函館滞在期間中の経済効果も期待できる。

○補助事業の収支状況

※平成23年度は「まちづくり活動支援補助金」の実績 (単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	自己資金	協賛金		計
		市	その他					
収	21							0
	22							0
	23	900		4,207	619	100		5,826
入	24	900	2,800	4,046	220	85		8,051
	25	900	2,800	4,700	300	100		8,800
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等			計
	21							0
	22							0
	23			5,826				5,826
	24			8,051				8,051
25			8,800				8,800	

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	イカール国際ミュージックキャンプ開催補助金
----------------	-----------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	全国や海外で活躍する一流講師陣による芸術家育成に加え、市民を対象とした音楽の楽しさを伝える事業が開催され、「音楽のまち函館」を内外に発信し、市における音楽産業の振興や音楽芸術の活性化、市民生活の向上に貢献している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市として「音楽合宿の誘致」に取り組む中で、市外参加者が、一定期間市に滞在する当該イベントの開催に対して、補助する必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ポスター・チラシ配布など宣伝活動に力を入れ、全国からレッスン受講者の招聘およびコンサート来場者の増加に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	全国・海外で活躍する一流講師陣による芸術家育成事業であり、市が主体となって開催することはできないため、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、事業に支障を来さない範囲を見極め、積算基準の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

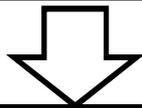
補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	イカール国際ミュージックキャンプ開催補助金
----------------	-----------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
○測定方法: 講師人数, レッスン受講者数, コンサートの入場者数, 市民対象教室の参加人数により効果を測定する。
(達成状況)
○達成状況: [平成24年度実績] 開催期間 8月14日～21日
<ul style="list-style-type: none"> ・講師人数 17人 ・ミュージックキャンプ(受講者) 72人 ・コンサート(芸術ホール)入場者 400人 ・音楽おもしろ教室聴講者 500人

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	

○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 平成24年度から交付を開始した補助金であるが, イベントの収支状況を再確認し, 補助金の縮減に努めるとともに, 積算基準額を明確にする。 (見直しの時期) 平成27年度
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定)
平成27年度		平成27年度